

アルプス中央信用金庫 上半期ディスクロージャー

ALPS CHUOH SHINKIN BANK REPORT 2021.09



宮田村駒ヶ根高原より望む南アルプス



アルプス中央信用金庫

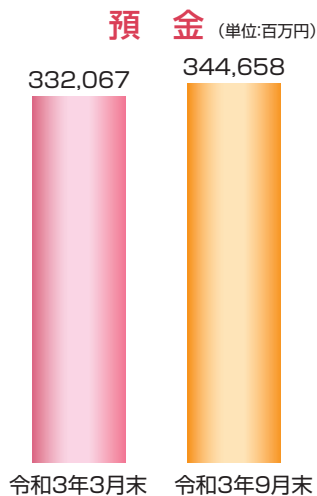
令和3年度上半期業績ハイライト

※上半期における財務計数値の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。
 ※パーセントについては小数点第3位以下を切り捨てて表記しております。

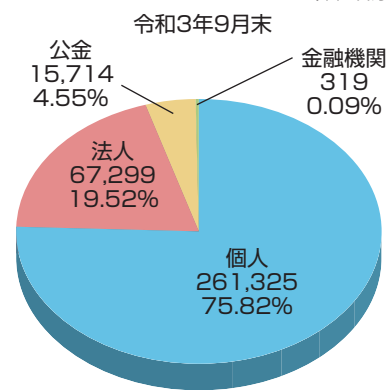
預金・貸出金残高の状況

* 預金残高 3,446億円

残高は令和3年3月末比125億円(増加率3.79%)、令和2年9月末比118億円(増加率3.56%)増加し、3,446億円となりました。令和3年3月末比の内訳では、普通預金を中心とした流動性が110億円増加し、定期性預金も15億円増加いたしました。また、預金者別では、個人のお客様の預金が22億円、法人の預金が103億円それぞれ増加いたしました。

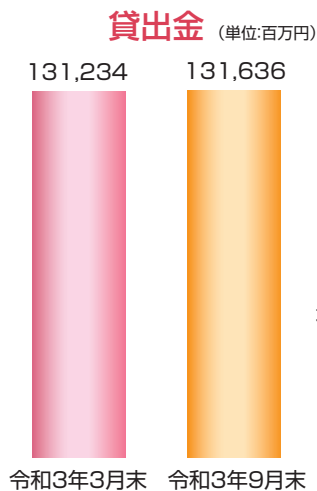


預金者別内訳 (単位:百万円)

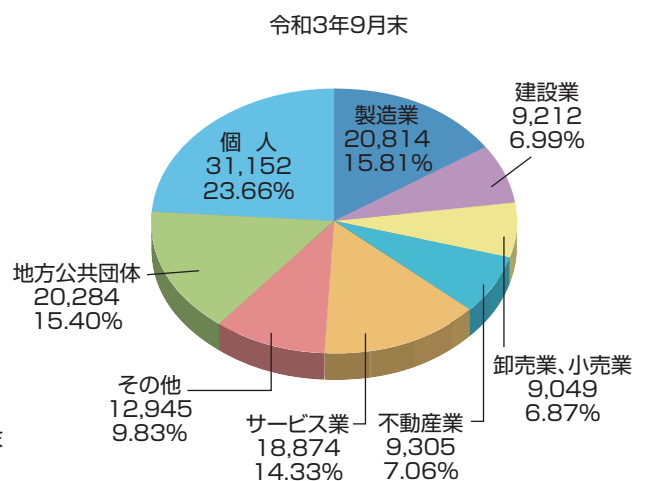


* 貸出金残高 1,316億円

新型コロナウイルス感染症の影響により甚大な影響を受けた事業者向け融資は本年度に入り減少しましたが、個人向け住宅ローンに積極的に取り組んだ結果、令和3年3月末比4億円(増加率0.30%)増加し、令和2年9月末比17億円(増加率1.35%)増加となりました。住宅ローンは令和3年3月末比5億円(増加率2.24%)増加となりました。



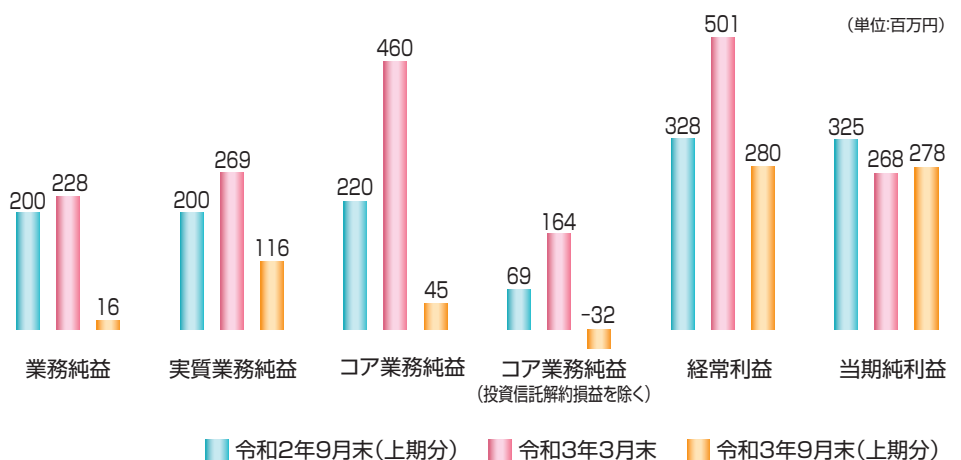
業種別内訳 (単位:百万円)



損益等の状況

* 当期純利益 2億78百万円

日本銀行のマイナス金利政策が長期化しており、資金運用利回りが著しく低下しました。経費削減に鋭意努めてまいりましたが、貸出金及び有価証券利息配当金収入の減少を補填できず、コア業務純益45百万円、経常利益2億80百万円、当期純利益2億78百万円にそれぞれ減益となりました。



業務純益…金融機関の基本的な業務に係る利益を示すものであり、いわゆる本業による利益です。
 実質業務純益…業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
 コア業務純益…実質業務純益から国債等償還損益(国債等債券売却却損、国債等債券償還益、国債等債券売却却損、国債等債券償還益、国債等債券償却を通算した損益)を差し引いたものです。
 経常利益…業務純益を含む業務内、業務外の通常発生する収益から、その収益を得るために発生する費用を差し引いたものです。
 当期純利益…経常利益に突発的な収益や費用(特別利益・特別損失)を加減し、法人税等を控除したものです。

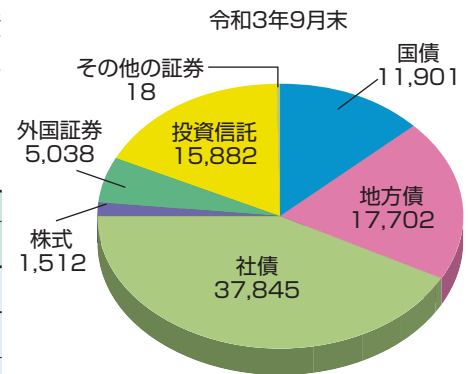
有価証券の状況

* 有価証券残高 899億円

みなさまからお預かりした大切なご預金は、ご融資のほかに国債・地方債・社債等を中心とした有価証券で運用をしております。安全性や流動性に留意した運用に努めております。

	令和3年3月末			令和3年9月末		
	簿価	時価	差額	簿価	時価	差額
その他有価証券	80,884	81,391	506	87,207	87,561	354
株式	1,155	1,667	511	1,175	1,492	317
債券	62,137	62,296	158	66,344	66,629	284
その他	17,591	17,427	△163	19,686	19,439	△247
満期保有目的の債券	2,050	2,049	0	2,320	2,326	6
子会社・関連会社株式	20	20	0	20	20	0

有価証券種類別残高 (単位:百万円)



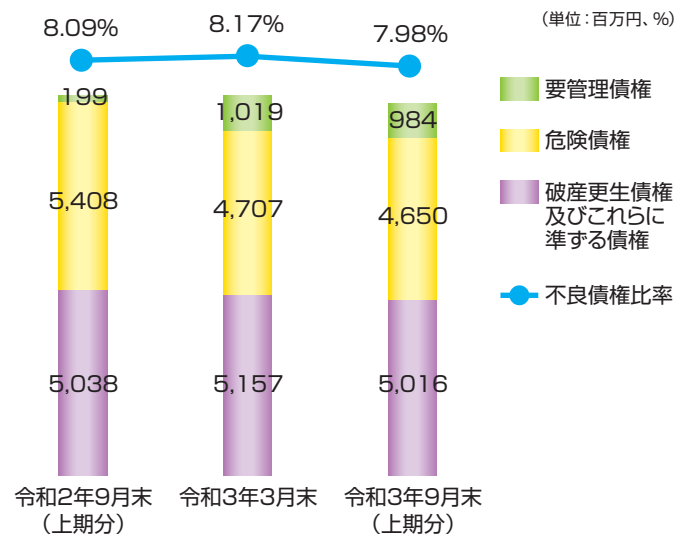
(注) 1. 令和3年9月末の「差額」は、令和3年9月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後)と時価の差額を計上しております。
2. 左記「その他」は、投資信託・外国証券及びその他の証券です。

金融再生法開示債権の状況

* 不良債権比率 7.98%

金融再生法に基づく不良債権(開示債権)額は、令和3年3月末比2億32百万円減少しました。不良債権比率も0.19%改善し7.98%となりました。担保・保証等による回収見込み額及び貸倒引当金の合計による保全率は90.53%となっており、不良債権への対応には万全を期しております。

- 金融再生法開示債権は、貸出金のほかに債務保証見返り、未収利息などを含みます。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

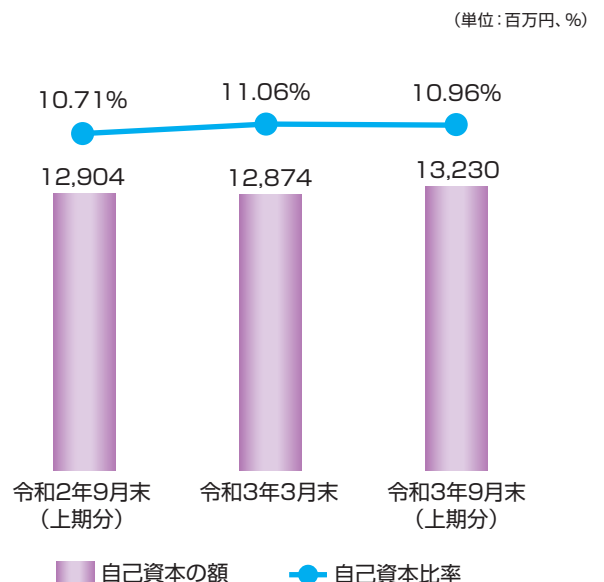


自己資本の状況

* 自己資本比率 10.96%

令和3年3月末比で、自己資本の額が3億56百万円増加したものの、リスクアセット等の額が42億13百万円増加したことから、自己資本比率は0.10%低下し10.96%となりました。引き続き、国内基準(4%以上)を上回っており、経営の健全性・安全性を十分に維持しております。

	令和3年3月末	令和3年9月末
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	13,149	13,526
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	275	296
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	12,874	13,230
信用リスク・アセットの額の合計額	109,847	114,061
オペレーショナルリスク相当額の合計額を8%で除して得た額	6,542	6,542
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	116,390	120,604
自己資本比率((ハ)/(ニ))	11.06%	10.96%



店舗のご案内 (令和3年11月1日現在)

本店	営業部	伊那市荒井3438番地1	(0265) 72-4171
赤穂	営業部	駒ヶ根市北町8番14号	(0265) 82-3151
宮田	支店	宮田村3320番地3	(0265) 85-3300
飯島	支店	飯島町飯島1445番地1	(0265) 86-3147
上片桐	支店	松川町上片桐3647番地	(0265) 37-2121
赤穂東	支店	駒ヶ根市東町8番10号	(0265) 82-6131
福岡	支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8(南支店内)	(0265) 82-3141
◎中川	支店	中川村片桐4080番地1	(0265) 88-3333
◎南	支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8	(0265) 82-5507
◎アルプス	支店	駒ヶ根市赤穂1293番地2	(0265) 81-1311
伊那北	支店	伊那市山寺3174番地7	(0265) 72-3118
辰野	支店	辰野町大字辰野1636番地9	(0266) 41-0005
箕輪	支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1	(0265) 79-2205
◎高遠	支店	伊那市高遠町西高遠1660番地1	(0265) 94-2133
◎宮木	支店	辰野町大字辰野1636番地9(辰野支店内)	(0266) 41-3481
◎春近	支店	伊那市西春近5242番地2	(0265) 78-6969
◎竜東	支店	伊那市中央4697番地1	(0265) 73-3172
南箕輪	支店	南箕輪村3115番地1	(0265) 76-1011
信大前	支店	南箕輪村8304番地72	(0265) 76-5551
いほく	支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1(箕輪支店内)	(0265) 79-1300
しんきんローンセンター		伊那市荒井3438番地1(本店営業部内)	(0265) 98-8077

◎印の店舗では11:30~12:30の間、休業をさせていただいております。

アルプス中央信用金庫 [SDGs 宣言]



○「あるしん寄付型 地域応援定期預金・絆」

医療機関へ寄付金贈呈
(伊那中央病院・昭和伊南総合病院・
町立辰野病院)



○箕輪町「2050 ゼロカーボン みのわ推進事業」

長野県地域発元気づくり支援金活用
事業の一環として、コラボエコバッグ
製作企画へ協賛



あるしんの概要 (令和3年9月30日現在)

本店	長野県伊那市荒井3438番地1
会員数	25,197名
出資金	10億28百万円
預金	3,446億58百万円
貸出金	1,316億36百万円
店舗数	21店舗
常勤役員	259名



アルプス中央信用金庫

ホームページ <http://www.alpuschuo-shinkin.jp>